



第71期

事業レポート

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

当社に関する詳しい情報はウェブサイトでもご覧いただけます。

<http://www.anest-iwata.co.jp>

アネスト岩田



株主の皆様へ

To Our Shareholders



株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここにアネスト岩田グループ第71期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の事業レポートをお届けいたします。

2016年度よりスタートしました3か年にわたる中期経営計画の初年度が終了いたしました。世界経済の緩やかな回復を背景に、為替の影響を受けながらも着実な一歩を踏み出すことができました。特にこれまで築き上げてきたグループネットワークにおきましては、海外子会社の効率的な運営を求めて、生産・販売体制の再編に取り組みました。また、社是や経営理念を始め、経営の根幹を永続的に支える精神を「アネスト岩田フィロソフィー」としてまとめ直し、グループ社員一同あらたな気持ちで100年企業を目指しております。

当期の実績は、売上高29,548百万円（前連結会計年度比0.1%増）、営業利益3,733百万円（同1.7%減）、経常利益4,139百万円（同0.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,400百万円（同31.1%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益には、持分法適用関連会社2社を連結子会社化したことにより発生した450百万円の段階取得に係る差益と、ふくしま産業復興企業立地補助金406百万円の特別利益を含んでおります。また、当期末配当を1株あたり11円とさせていただきます、中間期配当9円と合わせて年間では20円となる予定です。なお、次期の業績予想につきましては着実な歩みをすすめ、下表の数値を見込んでおります。

2017年6月

代表取締役 社長執行役員

壺田 貴弘

当期実績（連結）

売上高

29,548百万円
前期比 0.1% 増

営業利益

3,733百万円
前期比 1.7% 減

経常利益

4,139百万円
前期比 0.0% 増親会社株主に帰属する
当期純利益3,400百万円
前期比 31.1% 増 ※1

年間配当金

20.0円(期末11.0円)
前期比 2.0円 減 ※2

次期予想（連結）

売上高

31,500百万円
当期比 6.6% 増

営業利益

3,900百万円
当期比 4.5% 増

経常利益

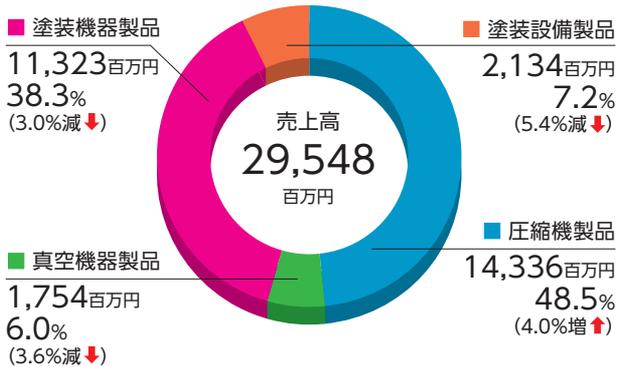
4,200百万円
当期比 1.5% 増親会社株主に帰属する
当期純利益2,700百万円
当期比 20.6% 減 ※1

年間配当金

19.0円
当期比 1.0円 減

※1：当期は、持分法適用関連会社2社の連結子会社化に伴う特別利益450百万円、福島県での投資に対する補助金406百万円を特別利益に計上しています。

※2：前期は、普通配当19円に加え創業90周年の記念配当3円があり22円でした。当期は、普通配当で1円増加し20円となります。



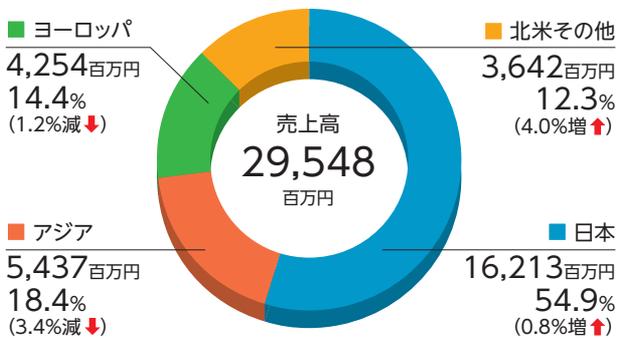
ROEは4期連続で2桁台を継続

当期の売上高は、29,548百万円、営業利益は3,733百万円（利益率12.6%）、経常利益は4,139百万円（利益率14.0%）と、ほぼ前年と同水準になりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は3,400百万円（利益率11.5%）となりましたが、この中には中国と台湾の持分法適用関連会社2社の連結子会社化により発生した特別利益とふくしま産業復興企業立地補助金の特別利益の合計856百万円が含まれております。

自己資本当期純利益率（ROE）は13.31%となり4期連続で2桁台を維持しております。

製品別売上高では、国内売上比率の高い圧縮機製品は伸長しましたが、海外売上比率の高い塗装機器を始めとした3製品は、円高の影響を受けて減少しました。

地域別営業概況



海外は現地通貨ベースでは伸長するも、円高により円換算ベースでは減少

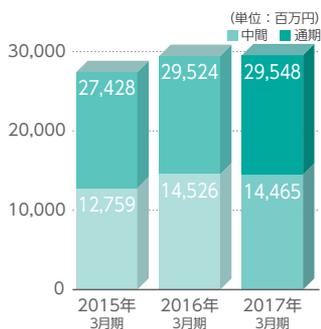
国内売上高は、圧縮機製品および塗装設備製品が伸長し16,213百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

海外売上高は、現地通貨ベースでは伸長しましたが、円高の影響を受けて円換算ベースでは13,334百万円（前年同期比0.8%減）となりました。海外地域別では、アジアは圧縮機製品が伸長しましたが全体では3.4%減少し、ヨーロッパは塗装機器製品が伸長しましたが全体では1.2%減少しました。北米その他のエリアでは、オイルフリースクロール圧縮機製品を主として伸長し、円高環境の中でも4.0%増加となりました。

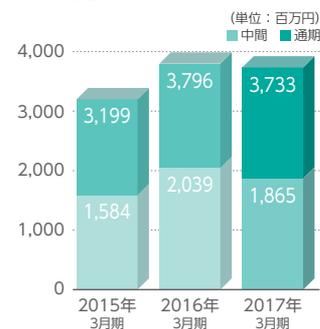
(注) ここでの地域別売上高とは、地域のお客様への売上高です。ヨーロッパの子会社がヨーロッパのお客様に販売したものはヨーロッパ地域の売上高としています。

連結財務ハイライト

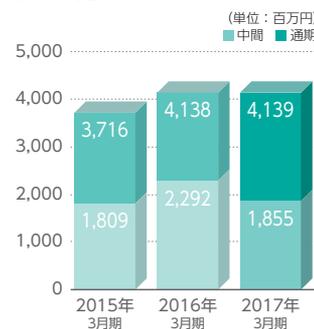
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



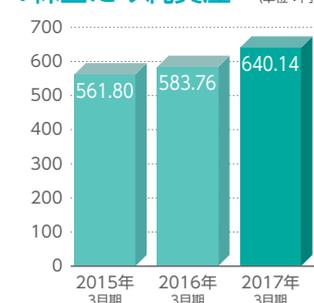
総資産・純資産



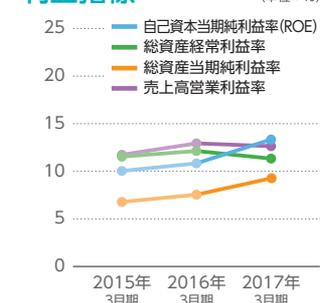
1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



利益指標

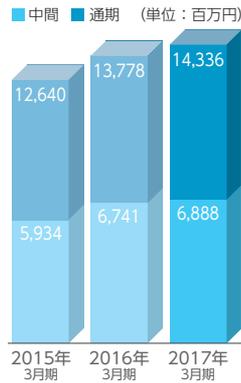


| 圧縮機製品

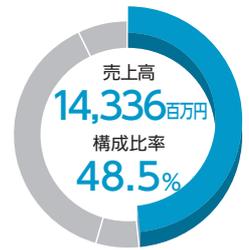
コンプレッサ・窒素ガス発生装置



オイルフリースクロールコンプレッサ (Fシリーズ)



- ▶ 国内では、高効率かつ省エネルギー性に優れたオイルフリー圧縮機を主として伸長しました。またオイルフリースクロールコンプレッサFシリーズが優秀省エネルギー機器表彰を受賞しました。
- ▶ 海外では、営業活動の他にオイルフリースクロール圧縮機を主としたコアコンポーネントビジネスやトランスポーター市場、医療市場向けのシステム提案等が順調に推移しました。
- ▶ 全体では前年同期比4.0%の増加となりました。

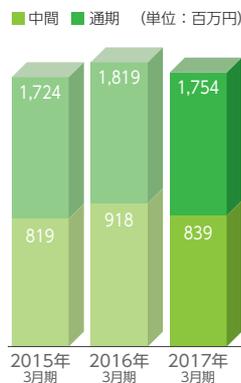


| 真空機器製品

ドライスクロール真空ポンプ



ドライスクロール真空ポンプ (ISPシリーズ)



- ▶ 国内では、アネスト岩田コンプレッサ株式会社の販売網を用いて、一般産業分野への販路拡大へ取り組みを開始し着実な成果を生み出しております。
- ▶ 海外では、米国市場で研究開発や試験装置向けの需要を取り込み伸長しましたが、欧州およびアジアでは主要なOEM先の減少分をカバーできず減少となりました。
- ▶ 全体では前年同期比3.6%の減少となりました。

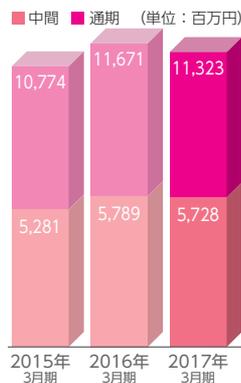


| 塗装機器製品

スプレーガン・静電塗装機・塗料供給装置・液圧機器・塗装ブース



創業90周年記念スプレーガン



- ▶ 国内では、自動車補修市場に向けた創業90周年記念スプレーガンを限定販売しご好評をいただきました。また法改正に伴う塗装ブースの新設・更新需要を順調に取り込んでおります。
- ▶ 海外では、水系塗料や多液混合塗料などを塗装するための塗装機器・装置が増加しました。また塗装の自動化に伴い、自動スプレーガンと塗料供給装置が伸長しました。併せて自動車補修市場へ向けた創業90周年記念スプレーガンもご好評をいただきました。
- ▶ 全体では前年同期比3.0%の減少となりました。

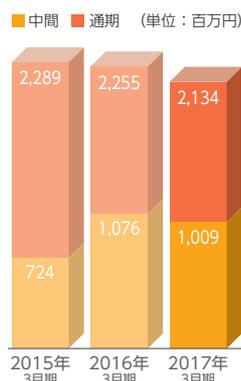


| 塗装設備製品

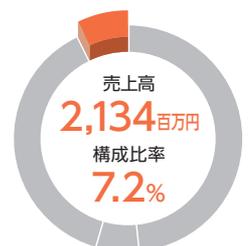
自動塗装装置・塗装プラント・塗装ロボット・環境装置



SWAN 塗装ロボットシステム



- ▶ 国内では、自動車部品製造を主としたお客様に向けた、本社ラボ・ルームでの試し塗りを通じて、省エネ・省資源および生産効率の向上を実現するためのご提案件数が伸長しました。
- ▶ 海外では、年度末までの納入予定物件の遅延や東南アジアにおける営業体制の再構築が不足したことから前年同期比で減少となりました。
- ▶ 全体では前年同期比5.4%の減少となりました。



中期経営計画への取り組みについて

(2016年4月～2019年3月の3カ年)



ONLY ONEの商品で、市場ごとのNUMBER ONE (No.1) をグループ丸 (ONE ANEST IWATA) となって、目指してまいります。

エアエナジー事業

圧縮機では、スクロール型を始めとしたオイルフリー圧縮機本体を全世界へ供給することにより、世界シェアを上げていく「コア・コンポーネントビジネス」を着実に進めております。各国展示会への積極的な出展により、EV（電動）バスや鉄道のブレーキシステムなどに使用されるトランスポート市場、グリーンな圧縮空気と信頼性そして多くの実績を求められる医療市場等にて、当社のオイルフリー技術に対する関心度が更に高まってまいりました。

真空機器では、従来からご支持をいただいているR&D市場を堅持しつつ、一般産業分野向けに販路拡大を注力いたしました。さらに一般産業分野で使いやすいドライ真空ポンプの市場投入に向けた準備を進めてまいりました。

コーティング事業

塗装機器では、工業塗装市場、自動車補修市場をターゲットとして、お客様の生産効率や作業効率の改善につながり、利益創出となるような提案活動を進めてまいりました。併せて国内では、法改正に伴う塗装ブースの更新・新設提案を行ない、お客様の作業環境および工場周辺の環境に対する改善提案を継続しております。また、塗料以外の液体を塗布する液圧機器市場におきましては、食液、接着剤、シーリング剤・コーキング材などの材料を塗布する専用スプレーガンを開発、さらに新モデルを市場投入し液材を送り出すポンプ等の周辺機器を含めて販売量が増加しております。

塗装設備では、国内外の自動車部品製造を主としたお客様に対する既設の塗装設備に対して、定期点検や更新提案活動を行なっております。特に国内では、塗装ロボットSWANシステムに対する注目度が高く、横浜本社のテストルームで試し塗りをいただき、仕上がりや材料の削減効果などを多数のお客様に実感いただいております。

その他の取り組み

グループ経営機能と事業強化としては、エアエナジー事業において、中国での小形・中形圧縮機生産体制を集約し効率化を図り、コーティング事業においては、開発拠点となるヨーロッパの生産・販売体制を統合しました。また、オーストラリアでは現地企業から圧縮機に関する事業を譲り受け、製販一体の新たなビジネスモデルの展開を開始いたしました。さらに、ドイツの老舗エアブラシメーカーであるHARDER & STEENBECK社を買収し、エアブラシとスプレーガン市場における当社ブランド価値の向上を図りました。（詳細：6ページのトピックスをご参照ください）

風土改革としては、創業90周年を迎えたことを機に、取引先様、横浜本社、秋田工場、福島工場の各地域で記念イベントを行ない、来たるべき100周年に向けて決意をあらたにいたしました。また、横浜本社棟に設けたコミュニケーションラウンジは積極的に活用され、従業員のモチベーション向上に貢献しております。

働き方改革の推進

“私たちは挑戦の精神を重んじ、公平公正を旨とし、社員の個性と能力を生かす、明るく一体感がある企業風土と、変化に柔軟に対応できるたくましい企業体質を作り上げ、心の幸福と豊かな生活を実現します。”

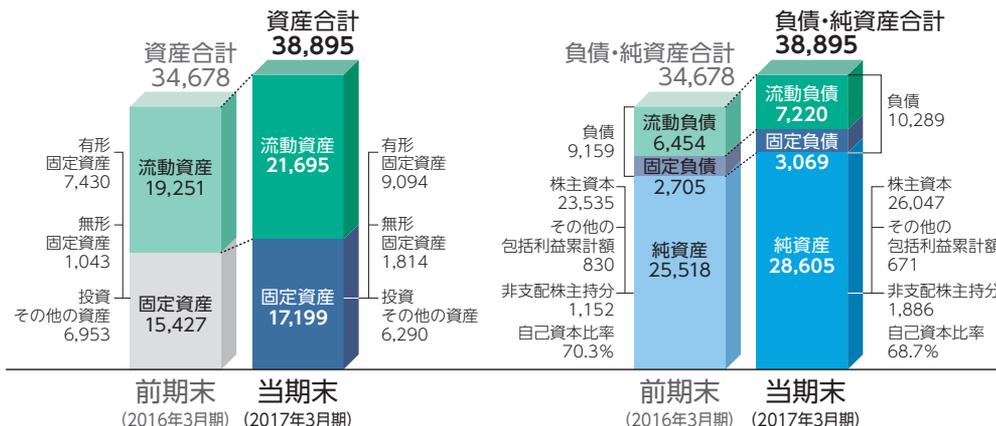
アネスト岩田のグループ経営理念には、こんな一文があります。社員が幸福を感じながら働くことのできる職場づくりは、一見すると会社が生み出す収益とは無関係に見えるかもしれませんが、しかし、ひとり一人に違うライフスタイルがあるように、それぞれが優れた個性や能力を持っています。それを最大限に生かすことのできる職場づくりは、会社全体のエネルギーを高めることにつながり、何よりも「真のグローバルワン・エクセレントメーカー」を目指す上で欠かせません。当社では、この考えに沿った様々な取組みを現在進めております。横浜本社には、社員同士がコミュニケーションをとる機会を増やすためのスペースが設けられました。2017年度には、秋田・福島工場にも設置が予定されております。また、既に導入されている有給休暇、育児休暇制度、介護休暇制度の他に、昨年末には年5回、1時間から使用できる時間有給休暇制度が導入されるなど、制度に関してもより社員の働き方に柔軟に対応できるものになっております。100年企業へ向けて、私たちはこれからも社員一丸となって進んでまいります。



秋田工場・福島工場に新設
を予定している、従業員の
コミュニケーションスペース
(構想イメージ)

連結財務データ

連結貸借対照表の概要（百万円）



- Point 1 固定資産の増加**
事業投資の拡大に伴い、「のれん」計上額が691百万円増加しました。
- Point 2 固定負債の増加**
増産のための設備投資により、「リース資産」が342百万円増加しました。
- Point 3 自己資本比率**
前期末の70.3%から68.7%と、1.6ポイントの減少となりました。

2017年度活動方針

2017年度は、2016年4月よりスタートいたしました中期経営計画の2年目にあたります。我々を取り巻く環境、社会情勢は刻々と変化しておりますが、動じることなく立案した数々の施策を実行し、全てのステークホルダーの皆様からご信頼いただける企業活動を行ってまいります。

基本方針

- お客様の立場に立ち、誠心を込めて高性能かつ高品質な商品をご提供できる活力と新規性に満ちた開発型企業となる。
- コストダウンや社内コア技術を中心とした改良型商品開発から、市場のニーズを確実に捉え、さまざまな企業とコラボレーションする柔軟な企業となる。
- 世界No.1を目指して、グループの全従業員が一丸となり、お客様満足度の最大化に努め、革新的な技術・製品を連続して開発・投入する。

エアエナジー事業

空圧・真空・膨張に関わる「社会に必須のエネルギー」を効率的、かつ安定的に供給するエアエナジー総合事業として、そのノウハウの構築と蓄積、人材の育成、必要とされるサービスの開発、効率的エネルギー管理に関わる製品開発を進め、「**空圧・膨張・真空エネルギーの総合マネジメント事業**」への転換を継続推進します。

圧縮機

- ・ 中期経営計画に掲げた「医療・医薬」、「食糧・食品」、「公共交通インフラ」、「再生エネルギー」の4市場への集中投資を継続します。更に当社が優位性を持つ技術を最大限活用し、競合他社との差別化をもって世界市場での地位確立を進めます。
- ・ 独自性のある技術の選択と集中及び応用を強化し、オイルフリー関連製品・新規事業製品開発を更に積極推進します。
- ・ 戦略市場セグメント毎の国内及び世界のグローバル企業との協業をさらに拡大し、市場開発と当社の存在感を高めるスピードを加速します。
- ・ 日本及び各国での製品立ち上げ期間の大幅短縮、生産・調達の効率化を実現し、世界重点エリア毎のニーズに即した製品の生産と供給を行うことで、生産面でのグローバル競争力の強化を行います。



オイルフリースクロールコンプレッサ



オイルフリースクロール真空ポンプ

真空機器

- ・ 低・中真空領域でのドライポンプに焦点を当て、これまで築いてきたR&D市場に加えて一般産業市場への早期展開を図ります。
- ・ 排気量拡大（中大型機）に向けた製品開発に集中的な投資を行い、事業成長に向けた基盤づくりを行います。

コーティング事業

世界中のお客様にご満足いただける、**最適な塗膜作成技術を有する世界トップクラスのコーティングメーカー**を目指します。

塗装機器

- ・ 水性塗料などの進化の著しい環境対応型塗料に最適な塗装機器（ハード）及び塗装方法（ソフト）の双方を継続提案します。
- ・ 日本の自動車補修市場において、本格的に導入が進むと予測されている水性塗料の機能を最大限に発揮できるスプレーガンならびに周辺機器などの新製品を、既に水性塗料が普及している欧州や米国で得たノウハウをベースにして投入します。
- ・ 工業塗装市場においては、新型の塗料供給ポンプやそれぞれの被塗物に最適なスプレーガンを基軸に、世界の木工・金属塗装市場に積極的な提案活動を行いシェアを拡大します。同様に塗装ラインでの高品質な塗装を可能とする新型スプレーガンを投入します。



環境にやさしい水性塗料に適した静電塗装用ハンドスプレーガン



SWAN 塗装事例

塗装設備

- ・ 自動車部品市場を軸として、鉄道車両市場、航空機部品市場への最適な塗膜作成技術及び環境装置技術の提案をもって、お客様の利益につながる塗装設備・塗布設備を実現します。
- ・ 次世代革新塗装設備（電動化や排気レス等）の創造と実現に向けた製品・システム開発を実行します。
- ・ 国内、アジア、北米エリアを主として塗装設備のアフターサービスをさらに拡充します。

液圧機器

- ・ 離型剤・接着剤・シーリング剤・機能剤・食液の各市場毎にマーケティング活動を実践し、攻略すべき産業・業種（自動車・自動車部品・食品・電子・木工・医療機器）に対して、最も効果的な提案・商材を提供します。
- ・ 食品（食液）市場において、あらたな用途及び新商品開発に注力すべく専用実験施設の設置を計画し、お客様とのコミュニケーションの機会を早期に創出します。



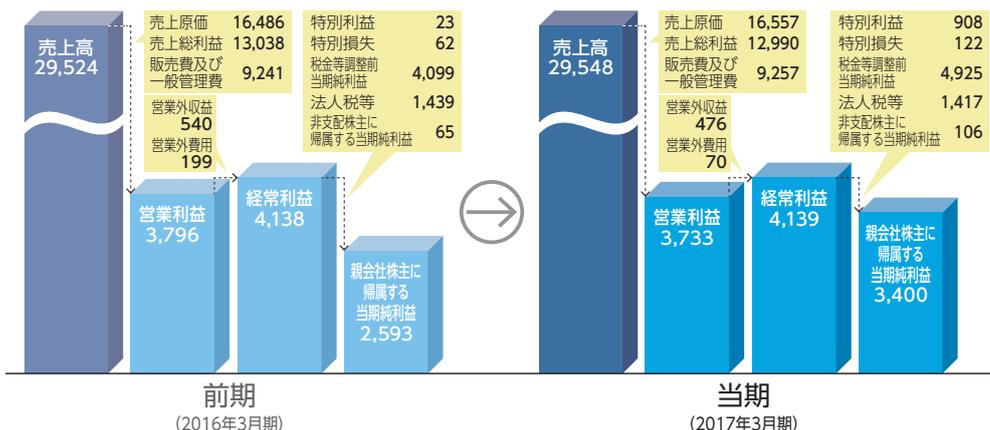
ケーキ等のデコレーション専用スプレーガン

風土改革

2016年度の実施内容をさらに拡大し、企業活動の源である“全ての従業員”がさらに創造的で豊かな発想を持ちモチベーションを高めるべく、働き方の改善・風土改革を続けてまいります。2017年度は横浜本社棟のエントランスをリニューアルし、ヒストリーラウンジやライブキッチン（※）を設置、2Fにはお客様向けのプレゼンルームならびにミーティングルームなどを新設する予定です。また技術開発研究施設を新設し、お客様の当社に対するご理解を深めていただきます。

※ライブキッチンとは食液塗布用機器をご検討のお客様にご来社いただき、実際の食液や材料を用いて、仕上がり及び機器の操作性等をご確認いただくためのテストスペースとなります。

連結損益計算書の概要（百万円）



Point 1 売上高

売上高は微増に留まりましたが、海外の現地通貨ベースでは大きく伸長しており、為替換算による影響が継続しております。

Point 2 特別利益

特別利益が大幅に増加しましたが、主に持分法適用関連会社2社の連結子会社化に伴う資産評価益450百万円と、「ふくしま産業復興企業立地補助金」の406百万円によるものです。

第37回 (平成28年度) 優秀省エネルギー機器表彰 資源エネルギー庁長官賞受賞 オイルフリースクロールコンプレッサ

当社が2015年1月に発売したオイルフリースクロールコンプレッサFシリーズは、耐熱被膜処理を採用した新型圧縮機本体を搭載したことにより、4つの優れた特長を持っております。これらの性能が優秀省エネルギー機器表彰審査の過程で高い評価を得ることとなり、今回の受賞につながりました。



オイルフリースクロールコンプレッサFシリーズの特長 (シール性の向上・高効率モータ化により)

- ① エネルギー効率が最大で14%向上。
- ② 耐久性が1.6倍に向上。
- ③ メンテナンスコストが最大25%削減。
- ④ 騒音値が2dB低減。(5.5kW)



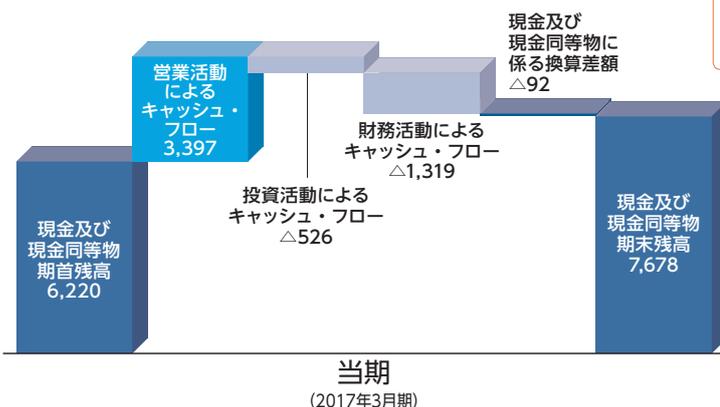
オイルフリースクロールコンプレッサFシリーズ

エアコンプレッサは、能力の大小を問わず全ての生産工場で使用されていると言っても過言ではありません。一般的には、工場で使用する電力の約20~40%をエアコンプレッサが占めるとされており、省エネルギーを推進する上でも、非常に重要な設備となります。当社のオイルフリースクロールコンプレッサは、潤滑油を使用していないことによる圧縮エアの品質とメンテナンス面に優位性を持ち、さらには工場内に分散設置をすることで必要に応じた圧縮エアの供給を行い、省エネルギーへ貢献いたします。



Consolidated Financial Data

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



Point 1 キャッシュ・フロー

「現金及び現金同等物」は前期末に比べ、1,458百万円増加し7,678百万円となりました。

主要連結財務指標

費用 (百万円)	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
設備投資額	1,364	1,048	1,473
減価償却費	1,007	1,076	1,127
研究開発費	854	1,017	1,112

(注) 研究開発費には、研究開発に係る製造経費も含まれます。

より詳細なデータについては [アネスト岩田 IR](#) 検索

■海外グループ会社再編の取組み

2016年度よりスタートした中期経営計画に基づき、以下のとおり海外子会社の再編を行ってまいりました。

●オーストラリア市場におけるコンプレッサ販売・サービス事業の譲り受け（2016年10月）

連結子会社のアネストイワタオーストラリアは、オセアニア地域のコンプレッサ市場において長年にわたり実績を積み重ねてきたBroadbent Compressor Services社から販売・サービス事業を譲り受けました。これにより当社グループは、当地にて事業展開を本格化するとともに、アジア・オセアニア地域における開発・生産・販売・サービスを一体とする経営の効率化を加速してまいります。多くのお客様より厚い信頼を獲得しているサービス体制を強みとして、食品・医療・理化学など多彩な市場に向けて営業活動を推進いたします。



●ドイツのエアーブラシメーカーの買収・子会社化（2017年1月）

連結子会社のアネストイワタドイツは、欧州のエアーブラシ市場において強固なブランド力を持つHARDER & STEENBECK社から全株式を取得し子会社化いたしました。これにより当社グループは、すでに世界で広く認知を受けている当社エアーブラシ専用ブランド“iwata”と欧州を中心に展開されてきたブランド“HARDER & STEENBECK”との相乗効果を高め、当該エリアにおけるエアーブラシの製造、販売およびサービス事業の拡充・強化に努めます。さらに、豊富な商品ラインナップと新規性のあるソリューション提案を通じて、エアーブラシ文化の魅力を全世界に向けて発信し、当社グループの確固たる優位性を築いてまいります。



2017年度の経営計画

2017年度連結業績予想と製品別売上高

(単位：百万円)

2017年度の業績予想値は、為替レートを105円/ドル・115円/ユーロとして計画したものです。

	2016年度実績		2017年度予想値（前年比較）				
	実績	構成比	目標額	構成比	増減額	増減率	
売上高	29,548	100.0%	31,500	100.0%	1,952	6.6%	
内訳	圧縮機	14,336	48.5%	14,870	47.2%	534	3.7%
	真空機器	1,754	6.0%	1,860	5.9%	106	6.0%
	エアエナジー事業部	16,090	54.5%	16,730	53.1%	640	4.0%
	塗装機器	11,323	38.3%	12,110	38.4%	787	7.0%
	塗装設備	2,134	7.2%	2,660	8.4%	526	24.6%
コーティング事業部	13,457	45.5%	14,770	46.9%	1,313	9.8%	
営業利益	3,733	12.6%	3,900	12.4%	167	4.5%	
経常利益	4,139	14.0%	4,200	13.3%	61	1.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,400	11.5%	2,700	8.6%	△700	△20.6%	
為替レート ¥/\$	108.84 (実績)		105.00 (想定)		-3.84	円高想定	
為替レート ¥/€	120.33 (実績)		115.00 (想定)		-5.33	円高想定	
配当 中間期+期末=年間	9円+11円=20円 (特別利益あり)		9円+10円=19円				

株主還元政策（配当と自己株式）

株主の皆様に対する安定的な利益還元に努めることを重要な使命としております。

配当 配当方針・配当性向30%を基準。最低でも年間3円。

	第2四半期末(中間)	期末	合計
2016年度の配当	9.00円	11.00円	20.00円
2017年度の配当予想	9.00円	10.00円	19.00円

自己株式消却 1株価値の向上を目的に継続的に実施しております。

配当金と発行済株式数（自己株式を除く）の推移



NETWORK

★は変動のあった国です。 ※エアエナジー事業とコーティング事業を兼務するグループ会社もございます。

エアエナジー事業 グループ会社 (●印)



イタリア：1 ドイツ：1 インド：1 日本：2 台湾：1 韓国：1 中国：3 タイ：1
ベトナム：1 インドネシア：1 アメリカ：2 ブラジル：1 オーストラリア：1

コーティング事業 グループ会社 (●印)



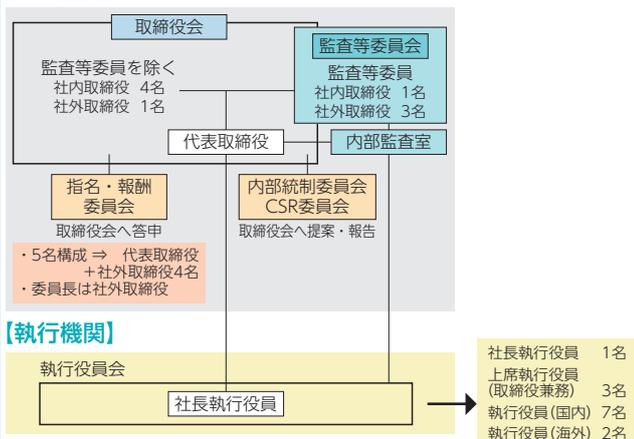
イタリア：1 フランス：1 ドイツ：2 スペイン：1 スウェーデン：1 ポーランド：1
イギリス：1 ロシア：1 インド：1 日本：2 台湾：1 中国：5 タイ：1
ベトナム：1 ミャンマー：1 インドネシア：1 アメリカ：2 ブラジル：1 メキシコ：1
オーストラリア：1 南アフリカ：1 アラブ首長国連邦：1

会社の概要

商号	アネスト岩田株式会社 (ANEST IWATA Corporation)
創業	1926年5月1日
設立	1948年6月2日
資本金	3,354,353,175円
従業員数	461人(連結・関連会社含む1,417人)
本社	横浜市港北区新吉田町3176番地
工場	秋田、福島
営業拠点等	仙台、東京、名古屋、大阪、福岡

体制と役員氏名 (2017年6月23日現在)

【経営機関】



【執行機関】

【取締役・監査等委員である取締役】

代表取締役	壺田 貴弘	取締役 常勤監査等委員	岩田 一
取締役	古賀 弘志	社外取締役 監査等委員	大島 恭輔
取締役	塚本 真也	社外取締役 監査等委員	高山 昌茂
取締役	鈴木 正人	社外取締役 監査等委員	森 敏文
社外取締役	米田 康三		

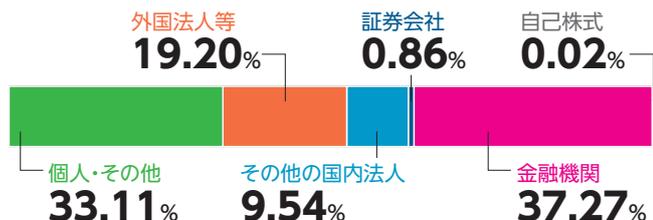
【執行役員】

社長執行役員	壺田 貴弘	・執行役員 国内：7名	大沢 健一
・上席執行役員：3名		液圧機器部長	深瀬 真一
経営管理部長	古賀 弘志	福島工場長	武田 克己
エアエナジー事業部長	塚本 真也	コーティングシステム部長	三好 栄祐
コーティング事業部長	鈴木 正人	コーティング事業部	
・執行役員 海外：2名		国内販売会社 社長	橋本 隆司
ヨーロッパ統括	Marco G. Vicentini	品質保証部長	鷹野 巧一
北米統括	Gary Glass	経営企画部長	亀原 信和
		エアエナジー事業部	
		国内販売会社 社長	

株式の状況

発行可能株式総数	189,290,000株
発行済株式の総数	41,745,505株
株主数	2,656名

所有者別株主分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,606	6.24
第一生命保険株式会社	2,272	5.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,912	4.58
アネスト岩田得意先持株会	1,881	4.51
アネスト岩田仕入先持株会	1,827	4.38

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
〔郵便物送付先〕	〒168-8507
〔電話お問い合わせ先〕	東京都杉並区和泉二丁目8番4号
	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
	フリーダイヤル 0120-288-324
	(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
	【取扱店】
	みずほ証券株式会社及びみずほ信託銀行株式会社
	全国各支店

公告方法 電子公告(下記 当社ホームページにて掲載)。ただし、事故その他の事由で電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式の各種手続きについて

- 株主様の住所変更、買取・買増請求書その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きは買取・買増請求書を含め、上記の特別口座の管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元(100株)未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式は、証券市場で売買できません。しかし、株主様は当社に対して単元未満株式の買取(株主様の売却)または買増(株主様の購入)をご請求いただくことで、単元未満株式を売却または1単元株式に整理することができます。ご希望の方はお取引のある口座管理機関にお問い合わせください。

【お知らせ】株券を預託しなかった株主様へ

株券電子化の前に証券会社等を通じて証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託しなかった株主様の株式については、特別口座管理機関(みずほ信託銀行)にて管理しており、これを特別口座といいます。そのままでは市場での売却ができない等の制約がありますので、お心当たりの株主様は、お早めに取引のある証券会社への振替をお願いします。お手続きの詳細は、上記のみずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。

見直しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見直しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいています。実際の業績は、様々な要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(株主様お問い合わせ先)

アネスト岩田株式会社
ANEST IWATA

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町3176番地
IR広報室 TEL (045) 591-9344 FAX (045) 591-9398
ホームページアドレス <http://www.anest-iwata.co.jp>

アネスト岩田 検索

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

